

2023年度 日本協同組合学会 会員総会 次 第

2023年6月3日(土)17:00～18:00

生協生活文化会館 4階会議室:Zoomとのハイブリッド開催

1. 開会

2. 議長選出

3. 議事

第1号議案 2022年度事業報告(案)について

第2号議案 2022年度収支決算(案)について
監査報告について

第3号議案 2023年度事業計画(案)について

第4号議案 2023年度収支予算(案)について

4. 報告

学生会員への2023年度会費免除措置について

5. 閉会

第1号議案 日本協同組合学会2022年度事業報告(案) (2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 各種会議の開催について

(1) 会員総会

2022年5月28日 京都JAビル地下2階 webハイブリッド開催
議案 2021年度事業報告・収支決算、2022年度事業計画・収支予算

(2) 理事会

- 1) 第21期 第2回 2022年5月27日 京都キャンパスプラザ
webハイブリッド開催
議案 2021年度事業報告・収支決算、2022年度事業計画・収支予算、学生会員の
2021年度会費免除措置
審議 学会誌賞の選考
- 2) 第21期 第3回 2022年9月9日 にいがた弁天貸会議室
webハイブリッド開催
協議 学会賞「実践賞」の選考について(応募なし)

(3) 常任理事会

- 1) 第21期 第4回 2022年5月9日(月) web開催
- 2) 第21期 第5回 2022年7月25日(月) web開催
- 3) 第21期 第6回 2022年11月7日(月) web開催
- 4) 第21期 第7回 2023年1月30日(月) web開催
- 5) 第21期 第8回 2023年3月24日(月) web開催

2. 大会・研究会等の開催について

(1) 研究大会の開催と企画準備

- 1) 第40回研究大会(春季)
2022年5月28日(土)13:00～16:00 京都JAビル(webハイブリッド開催)
◎シンポジウム「地域づくりの新段階と協同組合」
- 2) 第42回大会(秋季)
2022年9月10日(土)～11日(日)新潟大学および新潟弁天貸会議室(webハイブリッド開催)
第1日目:9月10日(土)
公開シンポジウム(日本NPO学会・日本地域経済学会共催)
「市民の自立・自立と労働者協同組合」
第2日目:9月11日(日)
個別論題報告(13報告)、テーマセッション(2セッション)
- 3) 第41回研究大会(春季)と第43回大会(秋季)の企画準備
◎ 第41回研究大会(春季)
2023年6月3日(土)～4日(日)に、特定非営利活動法人・地域と協同の研究センターを執行委員・共催として、「(東海)地域の実践から問いかける『協同組合らしさ』」をテーマに、生協生活文化会館4階(名古屋市)およびエクスカッション(奥三河・協同のまちづくり見学交流)を開催
◎ 第43回大会(秋季)
2023年9月8日(土)～10日(日)に、明治大学駿河台キャンパスにおいて開催予定

(2) 部会活動(主な活動)

1) 女性と協同組合研究部会:

開催日:2022年7月26日19:00~20:30(web開催)

内容:「女性クォータ制について(ドイツ法を参考にして)」

講師:関英昭会員(青山学院大学名誉教授)

関会員よりドイツ法と日本の実態を比較検討したレジュメを基に、
協同組合の現状・実態も含めて議論。

2) 協同組合とグローバリゼーション部会:

① 開催日:2022年8月28日(web開催)

内容:「たねと食とひと@フォーラム」より報告

② 開催日:2022年12月5日(web開催)

内容:高橋巖会員のご論文「食料自給率は向上できるのか? 食料自給率を
向上させる気はあるのか?」を議論

3) 協同組合教育研究部会

① 開催日:2022年12月20日(web開催)

内容:「日本社会の現状と協同組合事業の概要」を伊丹健太郎会員より
報告

② 開催日:2023年3月14日(web開催)

内容:「ブラジル社会の現状と連帯経済の概要」をヨシアキ・シンゴ氏(サン・
カルロス連邦大学)より報告

③ 開催日:2023年3月16日(web開催)

内容:「アイデンティティ教育をテーマとした研究例会」を開催し、JCA伊藤
治郎会員、栗本会員より報告のうえ議論

4) 経済学経営学研究部会

① 開催日:2022年4月17日(web開催及び生活文化会館)

内容:通算第8回「実践発の討議」『生協組合員の購買行動と活動・社会意識
(仮説)』向井忍氏からの情報提供、他、論点提起(石橋一郎会員、安藤
信雄会員、田辺準也会員、川島美奈子会員)

② 開催日:2022年7月17日(web開催及び生活文化会館)

内容:通算第9回「研究的討議」(秋大会テーマセッション、予定レジュメ他)

③ 開催日:2022年8月21日(web開催及び生活文化会館)

内容:通算第10回「実践発の討議」秋大会テーマセッションの意見交換およ
び上掛利博会員より報告(生協で働く労働者の労働運動等の話題提
供)

④ 開催日:2022年10月16日(web開催及び生活文化会館)

内容:通算第11回「研究的討議」秋大会テーマセッションの討議等

⑤ 開催日:2023年2月12日(web開催及び生活文化会館)

内容:通算第12回「実践発の討議」2022年度研究会のまとめ他

3. 学会誌「協同組合研究」の編集・刊行について

(1)「協同組合研究」の刊行

1) 第42巻第1号(通巻110号)2022年6月15日刊行

特集:日本協同組合学会 第41回大会

2) 第42巻第2号(通巻111号)2022年12月15日刊行

特集:日本協同組合学会 第40回春季大会

(2)編集委員会の開催

2022年5月23日(月)(第21期第2回) web開催

2022年8月19日(金) (第21期第3回)	web開催
2022年11月24日(木) (第21期第4回)	web開催
2023年 2月7日(火) (第21期第5回)	web開催

4. 国際交流について

(1) 中国社会科学院農村発展研究所との交流

第42回秋季研究大会へのオンライン参加を案内した。

(2) 韓国協同組合学会との交流

韓国協同組合学会からの依頼により、6月3日韓国協同組合学会夏季学術大会に向けて、北川会長のメッセージ動画をお送りした。

第40回春季研究大会へのオンライン参加を案内した。

第42回秋季研究大会において、張承權(チャン・スングォン)会長からの動画メッセージを配信した。

5. 2022年度学会賞・学会誌奨励賞について

- 学術賞 : 対象なし
- 実践賞 : 対象なし
- 学会誌賞 : 対象なし
- 学会誌奨励賞: ①菰田レエ也会員「ワーカーズ・コレクティブが労働統合型社会的企業として台頭する条件の考察 —ネットワーク分析から見たリーダーが果たす役割に着目して—」『協同組合研究』第41巻第1号(2021年6月)
- ②石澤香哉子会員「日本における労働者協同組合研究の到達点と課題」『協同組合研究』第41巻第2号(2021年12月)

6. 組織・広報・総務について

(1) 会員の状況(2023年3月31日現在)

普通会員 376人(前年度 373人)(うち生涯会員13人)

学生会員 34人(前年度 29人)

賛助会員 47団体(前年度 48団体)

合計 457会員(前年度 450会員)

(2) 広報活動

1) ニュースレターの発行

- ① Vol.34 No.1(通巻92号)2022年4月5日発行
第40回春季研究大会案内号
- ② Vol.34 No.2(通巻93号)2022年6月15日発行
総会報告号
- ③ Vol.34 No.3(通巻94号)2022年8月15日発行
研究大会案内号
- ④ Vol.34 No.4(通巻95号)2022年12月15日発行
研究大会報告号

2) ホームページの更新

随時更新し、会員への情報提供等をはかった。

3) 会員メーリングリストによる情報発信

(3) 総務事項

1) 事務局

一般社団法人日本協同組合連携機構(JCA)に学会事務を委託し、円滑な運営に努めた。

2) 学生への会費免除措置

新型コロナウイルス問題による経済的困窮から会費の支払いが困難となった学生会員に対して、自己申告による2022年度の会費免除を募り、1名の会費を免除した。

3) 日本学術会議の在り方についての声明

常任理事会声明として、2023年1月17日付で発表した。

4) デジタル化

会員情報管理システムを、日科技研による従来のシステムから、学会バンクの提供によるシステムに移管した。8月号のニューズレターにて会員に対し、会員情報管理システムの移管について案内するとともに、メールアドレスの登録を行うことと、原則クレジットカードでの会費支払を要請した。

学会誌のデジタル化に関しては、外部業者(企業組合ワーカーズ・コレクティブ企画編集のもの)に委託した。PDFファイルが作られていなかった創刊号から通巻67号までの全文をスキャンして画像PDFとして保存する作業を行った。また、学会誌の著作権規定が設けられた2005年の通巻68号以降2021年度109号までに掲載された論文・記事をJ-Stageで公開した。

5) 会員アンケート

大会や交流会の開催形式や今後の学会活動に関して、会員のニーズを把握するため、2022年12月～2023年1月にかけて、ウェブ上でアンケートを実施し、51名から回答を得た。集計結果はニューズレター96号(2023年4月15日発行)にて報告した。

第2号議案 日本協同組合学会 貸借対照表(案)

2023年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,869,809	9,489,782	△ 619,973
普通預金	8,869,809	9,489,782	△ 619,973
ゆうちょ銀行	367,307	4,808,497	△ 4,441,190
農林中央金庫	3,690,489	2,458,303	1,232,186
三井住友銀行	4,812,013	2,222,982	2,589,031
前払費用	65,010	0	65,010
流動資産合計	8,934,819	9,489,782	△ 554,963
資産合計	8,934,819	9,489,782	△ 554,963
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	0	8,000	△ 8,000
前受会費	12,000	33,000	△ 21,000
流動負債合計	12,000	41,000	△ 29,000
負債合計	12,000	41,000	△ 29,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
伊東学会誌賞基金	730,000	770,000	△ 40,000
指定正味財産合計	730,000	770,000	△ 40,000
2. 一般正味財産	8,192,819	8,678,782	△ 485,963
正味財産合計	8,922,819	9,448,782	△ 525,963
負債及び正味財産合計	8,934,819	9,489,782	△ 554,963

(注1) 会計基準は、公益法人会計基準に準拠しています。

(注2) 前払費用 第43回大会懇親会会場費

(注3) 前受会費 普通会员2名

日本協同組合学会 正味財産増減計算書（案）

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	3,398,000	4,046,000	△ 648,000
普通会員	1,692,000	1,968,000	△ 276,000
学生会員	69,000	75,000	△ 6,000
賛助会員	1,460,000	1,460,000	0
過年度分	177,000	543,000	△ 366,000
事業収益	234,865	195,600	39,265
春季大会関係収入	22,000	0	22,000
参加費収入	22,000	0	22,000
機関誌収入	212,865	195,600	17,265
雑収益	67,271	54	67,217
基金戻入	40,000	20,000	20,000
経常収益計	3,740,136	4,261,654	△ 521,518
(2) 経常費用			
事業活動費	2,669,951	1,685,897	984,054
春季大会関係費	231,948	0	231,948
会場費・運営費	230,668	0	230,668
旅費・交通費	1,280	0	1,280
秋季大会関係費	22,847	22,274	573
会場費・運営費	22,847	22,274	573
研究会関係費	14,400	7,300	7,100
機関誌発行費	2,354,340	1,579,061	775,279
機関誌印刷費	585,772	761,200	△ 175,428
機関誌発送費	77,748	94,561	△ 16,813
機関誌編集費	1,690,820	723,300	967,520
学会賞	0	53,631	△ 53,631
学会誌賞	46,416	23,631	22,785
事務局費	896,148	674,991	221,157
資料印刷費	344,839	262,834	82,005
通信費	342,578	289,290	53,288
旅費・交通費	1,006	1,008	△ 2
雑費	207,725	121,859	85,866
業務委託費	550,000	550,000	0
システム管理費	110,000	55,000	55,000
経常費用計	4,226,099	2,965,888	1,260,211
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 485,963	1,295,766	△ 1,781,729
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 485,963	1,295,766	△ 1,781,729
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 485,963	1,295,766	△ 1,781,729
一般正味財産期首残高	8,678,782	7,383,016	1,295,766
一般正味財産期末残高	8,192,819	8,678,782	△ 485,963
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△ 40,000	△ 20,000	△ 20,000
当期指定正味財産増減額	△ 40,000	△ 20,000	△ 20,000
指定正味財産期首残高	770,000	790,000	△ 20,000
指定正味財産期末残高	730,000	770,000	△ 40,000
III 正味財産期末残高	8,922,819	9,448,782	△ 525,963

【参考】日本協同組合学会 2022年度収支計算書（案）

2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	進捗率	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	3,999,000	3,398,000	85%	
普通会员	1,956,000	1,692,000	87%	終身会員13名
学生会員	93,000	69,000	74%	
賛助会員	1,450,000	1,460,000	101%	48団体（新規1団体）
過年度分	500,000	177,000	35%	
事業収入	947,400	234,865	25%	
春季大会関係収入	30,000	22,000	73%	第40回春季研究大会（5月28日WEB）@1000×22
参加費収入	30,000	22,000	73%	
秋季大会関係収入	660,000	0	0%	
参加費収入	180,000	0	0%	
交流会費収入	480,000	0	0%	
研究会関係収入	25,000	0	0%	
機関誌収入	200,000	212,865	106%	機関誌購読料
報告要旨集収入	32,400	0	0%	
雑収入	45	67,271		預金利息 年会費決裁手数料分
基金戻入	50,000	40,000	80%	伊東学会誌賞基金戻し入れ
事業活動収入計	4,996,445	3,740,136	75%	
2. 事業活動支出				
事業活動費	4,853,000	2,669,951	55%	
春季大会関係費	420,000	231,948	55%	第40回春季研究大会（5月28日WEB）
会場費・運営費	250,000	230,668	92%	コメンテーター1名謝金・会場使用料等
資料印刷費	120,000	0	0%	
旅費・交通費	50,000	1,280	3%	コメンテーター1名交通費
秋季大会関係費	1,280,000	22,847	2%	第42回大会（9月10日11日WEB：新潟大学）
会場費・運営費	450,000	22,847	5%	WEB会議使用料
資料印刷費	150,000	0	0%	
旅費・交通費	200,000	0	0%	
交流会費	480,000	0	0%	
研究会関係費	120,000	14,400	12%	グローバルゼーション部会・経済学・経営学部会
機関誌発行費	2,753,000	2,354,340	86%	
機関誌印刷費	900,000	585,772	65%	第42巻第1号 第42巻第2号
機関誌発送費	100,000	77,748	78%	第42巻第1号 第42巻第2号
機関誌編集費	1,753,000	1,690,820	96%	第42巻第1号 第42巻第2号 デジタル化
学会賞	125,000	0	0%	
学会誌賞	55,000	46,416	84%	学会誌奨励賞2名 賞状印刷費
国際交流費	100,000	0	0%	
事務局費	790,000	896,148	113%	
資料印刷費	260,000	344,839	133%	ニュースレター・限定会員情報・封筒等印刷費
通信費	300,000	342,578	114%	会費請求・ニュースレター等発送費
会議費	20,000	0	0%	
旅費・交通費	10,000	1,006	10%	金融機関入金確認時交通費 監事監査交通費
雑費	200,000	207,725	104%	ZOOM利用料・振込手数料・決済手数料・消耗品費等
業務委託費	550,000	550,000	100%	JCA
システム管理費	200,000	110,000	55%	年度更新・学会バンク移行費
予備費	10,000	0	0%	
事業活動支出計	6,403,000	4,226,099	66%	
事業活動収支差額	△ 1,406,555	△ 485,963		
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0		
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0		
投資活動収支差額	0	0		
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0		
2. 財務活動支出				
その他の財務活動支出	50,000	40,000		伊東学会誌賞基金取り崩し
財務活動支出計	50,000	40,000		
財務活動収支差額	△ 50,000	△ 40,000		
IV 予備費支出				
当期収支差額	△ 1,456,555	△ 525,963		
前期繰越収支差額	0	9,448,782		
次期繰越収支差額	△ 1,456,555	8,922,819		

監査報告書

私は日本協同組合学会の2022年4月1日から2023年3月31日までの2022年度貸借対照表および正味財産増減計算書ならびに収支計算書について監査を行った。

監査の結果、上記の計算書類は、日本協同組合学会の2023年3月31日現在の経理状況を正しく示しているものと認める。

2023年5月12日

監事

岡本 一朗

監事

中村 久子

第3号議案 日本協同組合学会2023年度事業計画(案)

(2023年4月1日~2024年3月31日)

1. 機関会議の開催予定について

- (1) 総会:通常総会(決算・予算等)を2023年6月3日に生協生活文化会館(名古屋市)において開催する(実開催とリモート開催のハイブリッドを予定)。また、臨時総会を9月9日明治大学で開催する。
- (2) 理事会:第21期第4回(総会提出議案等)を2023年6月2日に生協生活文化会館(名古屋市)において開催する(実開催とリモート開催のハイブリッドを予定)。第21期第5回を2023年9月8日に明治大学で開催する。
- (3) 常任理事会:概ね2か月に1度の頻度で開催する。

2. 大会・研究会、および部会活動について

- (1) 第41回研究大会(春季)を生協生活文化会館(名古屋市)において2023年6月3日(土)に開催する(実開催とリモート開催のハイブリッド)。また、第43回大会(秋季)を明治大学において2023年9月8日~10日に予定する。
- (2) 新協同組合理論研究会を継続し実施する。
- (3) 部会活動
 - 1) 協同組合とグローバル化部会
 - 2) 女性と協同組合研究部会
 - 3) 協同組合教育研究部会
 - 4) 経済学経営学研究部会

3. 学会誌「協同組合研究」の編集・刊行について

- (1) 「協同組合研究」の刊行
 - 1) 第43巻第1号(通巻112号)2023年6月15日刊行予定
第42回秋季大会(新潟大学)シンポジウム、投稿論文、書評ほか
 - 2) 第43巻第2号(通巻113号)2023年12月15日刊行予定
第41回春季大会(地域と協同の研究センター共催)シンポジウム、投稿論文、書評ほか
- (2) 編集委員会
役割分担をはかるなかで円滑な編集業務に努める。
- (3) 学会誌のPDF化および学会ホームページ、J-Stageへの格納・公表を進める。なお、デジタル化作業については、外部業者(企業組合ワーカーズ・コレクティブ企画編集のもの)へ発注する。

4. 国際交流について

韓国協同組合学会、中国社会科学院農村発展研究所との交流を継続する。

5. 学会賞について

- 1) 2022年度学会賞の審査、選定、表彰を行う。
- 2) 2023年度学会賞実践賞の募集(6月末日まで)、審査、選定、表彰を行う。
- 3) 2023年度学会賞に向けた募集を行う(2024年2月末日まで)。

6. 組織・広報について

- (1) 広報活動
 - 1) ニュースレターの発行
 - 2) ホームページの随時更新
 - 3) 会員メーリングリストによる情報発信

4) 会員情報の提供

(2) 組織活動

会員の新規加入促進の継続、会費の円滑な納入に向けて対応を進める。

(3) 事務局および会員管理の外部委託

JCA(一般社団法人 日本協同組合連携機構)に事務委託を継続し、円滑な運営に努める。

また、外部の無料ツールを採用し(株式会社マーカーネット(学会バンク)のサービス利用契約による。)、会員管理の効率化を図る。

第4号議案 日本協同組合学会 2023年度収支予算書（案）

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

（単位：円）

科 目	2022年度予算額	2022年度決算額	2023年度予算額	前年実績比	備 考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
会費収入	3,999,000	3,398,000	3,999,000	118%	
普通会員	1,956,000	1,692,000	1,956,000	116%	
学生会員	93,000	69,000	93,000	135%	
賛助会員	1,450,000	1,460,000	1,450,000	99%	
過年度分	500,000	177,000	500,000	282%	
事業収入	947,400	234,865	1,295,000	551%	
春季大会関係収入	30,000	22,000	435,000	1977%	第41回春季大会 地域と協同の研究センター（名古屋市）での開催を予定
参加費収入	30,000	22,000	180,000	818%	地域と協同の研究センター見積による
交流会費収入	0	0	255,000	-	"
秋季大会関係収入	660,000	0	660,000	-	
参加費収入	180,000	0	180,000	-	第43回秋季大会は実開催とし2022年度予算と同額を見込む。
交流会費収入	480,000	0	480,000	-	同上
研究会関係収入	25,000	0	0	-	予定なし
機関誌収入	200,000	212,865	200,000	94%	機関誌購読料
報告要旨集収入	32,400	0	0	-	予定しない
雑収入	45	67,271	139,000	-	預金利息45円および、学会バンク決裁手数料
基金戻入	50,000	40,000	50,000	125%	伊東学会誌賞基金取り崩し
事業活動収入計	4,996,445	3,740,136	5,483,000	147%	
2. 事業活動支出					
事業活動費	4,853,000	2,669,951	5,080,658	190%	
春季大会関係費	420,000	231,948	745,358	321%	
会場費・運営費	250,000	230,668	289,290	125%	地域と協同の研究センター見積による
資料印刷費	120,000	0	100,000	-	"
旅費・交通費	50,000	1,280	176,068	13755%	"
交流会費	0	0	180,000	-	"
秋季大会関係費	1,280,000	22,847	1,862,300	8151%	第43回秋季大会は明治大学9/8-10での実開催を予定する
会場費・運営費	450,000	22,847	552,300	2417%	2022年度が未請求のため、加えて2023年度会場費102,300円を加算する。
資料印刷費	150,000	0	150,000	-	2022年度予算と同額を見込む（賞状印刷費用含む）
旅費・交通費	200,000	0	200,000	-	2022年度予算と同額を見込む
交流会費	480,000	0	960,000	-	2022年度が未請求のため、加えて2022年度予算と同額を加算する。
研究会関係費	120,000	14,400	120,000	833%	新理論研究会、部会活動費
機関誌発行費	2,753,000	2,354,340	2,073,000	88%	第43巻1号・2号
機関誌印刷費	900,000	585,772	900,000	154%	
機関誌発送費	100,000	77,748	100,000	129%	
機関誌編集費	1,753,000	1,690,820	1,073,000	63%	編集業務委託費（大会文字起こし、J-Stage掲載他）、編集委員会旅費10万円を見込む
学会賞	125,000	0	125,000	-	学術賞50,000円×1名、実践賞等30,000円×2名、賞状印刷費
学会誌賞	55,000	46,416	55,000	118%	学会誌奨励賞副賞、賞状印刷費
国際交流費	100,000	0	100,000	-	
事務局費	790,000	896,148	1,057,000	118%	
資料印刷費	260,000	344,839	345,000	100%	ニュースレター・限定会員情報・封筒印刷費で、2022年度実績と同水準
通信費	300,000	342,578	343,000	100%	会費請求、ニュースレター発送費等で、2022年度実績と同水準を見込む
会議費	20,000	0	20,000	-	
旅費・交通費	10,000	1,006	10,000	994%	常任理事会等（リモート前提として2022予算と同額を見込む）
雑費	200,000	207,725	339,000	163%	振込手数料・消耗品費、WEB会議使用料、学会バンク決裁手数料
業務委託費	550,000	550,000	550,000	100%	JCA委託費
システム管理費	200,000	110,000	0	0%	学会バンク支払い（2022年度決算）は発生しない予定のため見込まない
予備費	10,000	0	10,000	-	2022年度予算と同額を見込む
事業活動支出計	6,403,000	4,226,099	6,697,658	158%	
事業活動収支差額	△ 1,406,555	△ 485,963	△ 1,214,658	250%	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入	0	0	0	-	
投資活動収入計	0	0	0	-	
2. 投資活動支出					
投資活動支出	0	0	0	-	
投資活動支出計	0	0	0	-	
投資活動収支差額	0	0	0	-	
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入	0	0	0	-	
財務活動収入計	0	0	0	-	
2. 財務活動支出					
その他の財務活動支出	50,000	40,000	50,000	125%	伊東学会誌賞基金取り崩し
財務活動支出計	50,000	40,000	50,000	125%	
財務活動収支差額	△ 50,000	△ 40,000	△ 50,000	-	
IV 予備費支出					
当期収支差額	△ 1,456,555	△ 525,963	△ 1,214,658	-	
前期繰越収支差額	9,448,782	9,448,782	8,922,819	94%	
次期繰越収支差額	7,992,227	8,922,819	7,708,161	86%	